

令和2年度・事業所による自己評価結果

事業所：ハッピーハート木戸 事業：放課後等デイサービス 回答数：5

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	自分が工夫している点 自分の課題や改善する点	課題又は改善目標
環境・体制整備	1 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせ、安全性が配慮された空間となっているか。	5				感染症予防も含めて、継続して配慮を行っていく。
	2 職員の配置数は適正であるか。		5		・不足を感じることもあるが、活動など工夫している。	配置等を工夫し、各自で意識をし、安心した空間作りに努めていく。
	3 子どもや保護者への支援や対応に困った時、相談できる体制が整っているか。	5			・体制は整っており相談もできるが、うまく伝えられないこともあるので改善していきたい。	いつでも相談し合える雰囲気作りを心掛け、同じ気持ちに立って共感し合えるように団結力の向上を目指す。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員は参画しているか。	4	1		・目標を自分なりにするが出来ている時、出来ていない時もある。	一つの目標に向けて職員間で意識の統一を図って実施につなげていく。
	5 前年度の保護者向けアンケートや、面談による保護者の意向等を把握し業務改善にいかしているか。	3	2		・新規開設の為、前年度はないが保護者の意向等は管理者より伝えられ意向に沿えるようにしている。	
	6 接遇（言葉使い・挨拶等）、身だしなみを意識して業務に就いているか。	5				
	7 職員の資質の向上を行うために、組織として研修の機会を確保しているが、意欲的に参加しているか。	4	1		・研修の機会がなかったでどちらともいえない。	
適切な支援の提供	8 面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成していると思われるか。	5			・面談の内容やハッピーでの姿を総合して計画を作成していると思う。	
	9 個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	5			・計画作成時に職員が閲覧し周知されている。	
	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しているか。また、指導員は計画を意識し、支援や活動内容の意図を理解し支援しているか。	4	1		・参加する人数や個性に応じて内容を計画している。	個別支援計画に沿った活動の立案や実践を行いつつ、子ども達が楽しく身につく活動を考えていく。
	11 事業所全体で、子どもへの共通理解を持って支援にあたるよう努めているか。	5				
	12 活動プログラムはチームで立案を行っているか。	5			・職員が話し合いのもと活動を考えている。	実施したい活動内容の立案がしやすい環境作りに努め、チーム力を高めていく。
適切な支援の提供	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		・自分なりに参考資料を見たりしているが発想が少ないと思う。	参考資料やこれまでの経験を出し合いや、話し合いを行い幅を広げていく。
	14 支援を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を意識して行っているか。	4	1		・随時振り返りを行い目標がクリアできるよう支援を工夫している。	確実にPDCAサイクルに基づいた支援を提供しているかの振り返りを実施し、将来を見据えた支援を実施していく。
	15 平日、長期休暇等に応じて、活動内容を設定し、支援しているか。	4	1			追加や欠席等で利用人数が変化しても、内容の一部変更や追加、毎回同じ内容にならないよう工夫している。
	16 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5				
	17 支援終了後には、職員間で話し合いをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				より一層、深めた話し合いができるように振り返りを行う時間を設定していく。
	18 支援内容や状況等を正しく記録に残し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
関係機関や保護者との連携	19 相談支援事業所のモニタリングや、支援会議等に、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	5			・参加できる会議は参加し、難しい時は情報提供書を作成して渡すようにしている。	
	20 児童発達支援センターや発達障害者支援センター（JOIN）等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	1	4		・連携、助言は管理者より伝えられているが研修は受けていない。	研修の情報を共有し、参加に繋げていく。
	21 以前まで利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、または学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		・児童発達との連携を密にしようと考えている。学校とも常に情報共有できるよう連絡している。	
	22 学校や障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	1		
	23 保育園や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		・年間計画を確認し、保護者にも協力を得ながら行っている。	
	24 保育所や認定こども園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。		3	2	・感染症対策の為、外出は控えている。	
	25 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
26 支援の内容、利用者負担等について、質問があった際、誠意ある対応、丁寧な説明を行っているか。	3		2			
保護	27 個別支援計画は、支援の内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	3	1	1		
	28 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	1	2	・必要な助言、支援がうまくできているのか不安になる時がある。相談は聞くことはできていると感じる。	常に話しやすい接遇に努め、職員間で情報共有する場を設け応じていく。

者への説明責任等	29	子どもや保護者からの相談・申入れがあった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3	2			
	30	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1			
	31	個人情報に十分注意しているか。	5				
非常時等の対応	32	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、伝わりやすいよう配慮をしているか。	4	1			
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		2	3		
	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	5				
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	5				
	36	緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアルを策定し、職員に周知しているか。	4	1		・周知されているが自分の中で曖昧な所もあるので確認したい。 ・避難訓練と併せて毎月話し合いをしている。	防災訓練や感染症対策を毎月行い、その都度不足な点や疑問点を解決していく。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・毎月必ず行っている。不明な点はその場で確認するようにしている。	
	38	虐待を防止するため、虐待チェックアンケートや、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか。	1	3	1	・周知されているが自分の中で曖昧な所もあるので確認したい。	どんな場面が身体拘束にあたるのかを、職員間で話し合い、勉強会を行い、共通認識をもって支援していく。
40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	3	2		・共有している。今後繰り返さないよう心掛けている。	全職員が事例を確認し、危機意識を高めながら支援時に活かしていく。	

## ハッピーハート木戸

6月から開所し、信頼関係を築く基盤作りを最優先に考え、心温まる環境作りに努めてきました。職員一人一人、子ども達が楽しめる学習や活動を考え、一緒に成長をしていく気持ちで支援を行っています。子どもたちとコミュニケーションを図りながら個々の必要と思える支援を導き出し、個別支援計画書に反映できるように話し合いや意見交換をして作成や見直しを行っています。普段から些細な事でも話し合い、お互いの意見を尊重し合い、関係を深めることで支援の質を上げていけると確信しています。

また、今まで経験したことや知識を情報共有できるよう話し合い、活動や支援の幅を広げ、振り返りを行いながら、子ども達と職員が共に成長できる楽しく温かな空間にしていきたいと考えています。

これらからも、情報共有や振り返りを行い、共通の認識のもと統一した意識で支援を行い、関わり合いを深めていきます。新たな課題が出てきた時には迅速に話し合い、なによりも子ども達の笑顔を増やせるよう、より明るい将来を迎えられるような支援に努めていきます。